

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	1年C巡	単元	学科	教科名	シャシ構造C	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	三級自動車整備士（総合）		発行日	2026.4.1
総時限	12時限				教科 担当	内川 智輝
総時間	19.2時間					
単位数	1					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車整備士として、シャシ整備の実務経験がある教員によりシャシの構造、作動について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
<ul style="list-style-type: none"> ①ホイール・アライメントを理解する。 ②ブレーキ装置を理解する。 ③フレーム及びボデーを理解する。 ④安全装置を理解する。 						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ①ホイール・アライメントの構造・機能を理解出来る。 ②ブレーキ装置の構造・機能を理解出来る。 ③フレーム及びボデーの構想・機能を理解出来る。 ④安全装置の予防安全装置と衝突安全装置を理解出来る。 						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。 						
5. 準備学習						
シャシ構造A、Bの内容を復習しておく。						
6. 学修時間と単位						
<p>本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。</p> <p>1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。</p>						

時期	1年C巡	単元	学科	教科名	シャシ構造C		
7. 業概要 (時限ごとの主な授業内容)					8. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
1	ホイール・アライメント	概要	構造・機能_キャンバ、キャスト		三級自動車整備士 (総合)	各自	
2	ホイール・アライメント	構造・機能_キング・ピン傾角～左右のホイールの切れ角 (ターニング・ラジアス)					
3	ブレーキ装置	概要	構造・機能_フット・ブレーキ (ブレーキ・ペダル、マスタ・シリンダ)				
4	ブレーキ装置	構造・機能_ブレーキ・パイプ及びブレーキ・ホース～ ドラム・ブレーキの種類					
5	ブレーキ装置	構造・機能_ブレーキ・シュー及びライニング～ 自動調整装置					
6	ブレーキ装置	構造・機能_ディスク・ブレーキ、ブレーキパッド～自動調整装置					
7	ブレーキ装置	構造・機能_ブレーキ液～アンチロック装置					
8	ブレーキ装置	構造・機能_パーキング・ブレーキ (手動式～パーキング・ブレーキ本体)					
9	フレーム及びボデー	概要	構造・機能_フレーム～ボデー (ボデー・シエル)				
10	フレーム及びボデー	構造・機能_ボデー (トラック、バス)、ボデー機能部品、 ボデーの塗装					
11	安全装置	概要、予防安全装置、衝突安全装置					
12	習熟確認問題	期末試験前の習熟確認					